

いもち病（葉いもち）情報第3号

平成25年7月16日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 葉いもち感染好適条件の出現状況

中山間地域を中心に、7月4日から5日にかけて感染好適条件（●印）が出現しましたが、東海地方では7月8日頃に梅雨明けしたため、その後、感染好適条件は出現しませんでした（表）。

2 発生状況

7月上旬の巡回調査（157ほ場）では、発生ほ場率2.6%（前年1.3%、平年11.1%）、発病株率0.25%（前年0.04%、平年1.16%）と平年よりやや少ない発生状況です。

3 今後の見込み

週間天気予報によれば、向こう一週間（7月17日～23日）は、湿った気流の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめは雨の降る所があると予測されています。

降雨は感染成立の要因の一つですが、気温も重要な要因です。梅雨明け後、平均気温25℃以上の高温が続いているため、この状況が続けば、葉いもちの感染は成立しにくくなると判断できます。

葉いもちの発生がやや少ないため、早期栽培での穂いもちの発生は少ないと予測します。ただし、常発地では発生に留意してください。

表 水稻いもち発生予測システムによる葉いもち感染好適日の推定結果
(7月1日～7月15日)

日付	尾 張			西三河		東三河			中山間	
	愛西	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	伊良湖	豊橋	新城	稲武
7/1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/3	3	—	—	3	3	3	—	3	3	3
7/4	4	2	—	●	4	●	1	6	9	5
7/5	5	7	1	●	●	●	—	5	●	●
7/6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/7	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
7/9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/14	—	—	—	②	—	—	—	—	—	4
7/15	4	—	—	—	4	4	—	1	3	4

●：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、いもち病発生の好適条件が現れた）

④：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が比較的低く、その平均気温に必要な湿潤時間より短い）

③：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃の範囲外）

②：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上）

①：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満）

数値：湿潤時間が10時間未満である湿潤時間数

—：好適条件なし（いもち病発生の好適条件が現れなかった）